

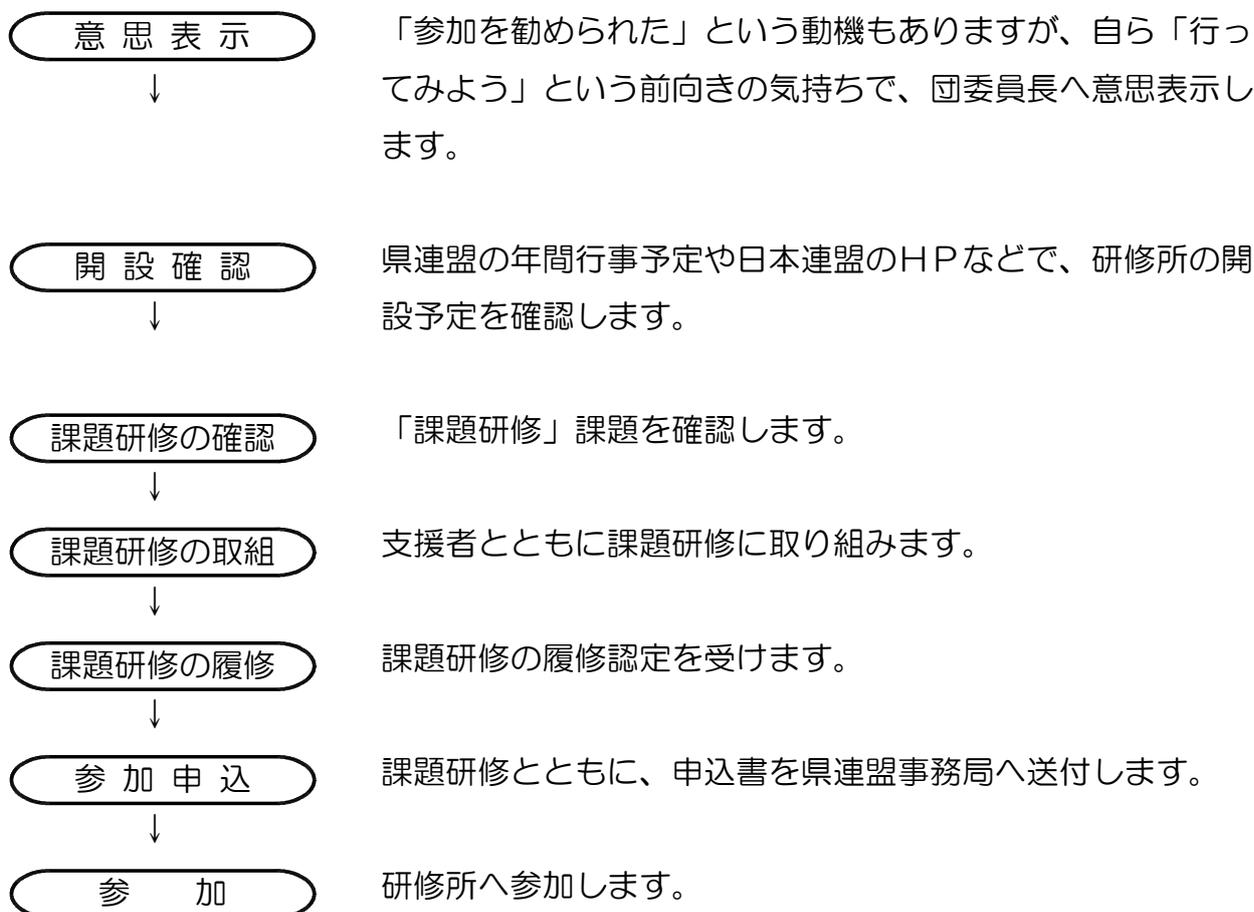
団委員研修所は、ボーイスカウト講習会を修了した加盟員を対象とし、団指導者としての任務を理解し、団の管理と運営能力を高めていただくことを目的としています。

また、過去に研修所を修了した方であっても、何度でも参加できます。

研修所はインサービス・サポート（任務中の指導者への支援）の一環として行われることから、現在団委員である方、または近い将来団委員となる方であっても、最新の管理・運営について学習するため、是非参加していただきたいものです。

まず、青森県連盟における研修所参加までの流れの一例を説明します。

団委員長への お願い	トレーナーまたはコミッショナーのアドバイスで進めていきますので、参加の意思表示後、できるだけ早い時期にトレーナーまたはコミッショナーへご連絡ください。
-----------------------	---



次に、課題研修への取組について説明します。

団委員研修所では、参加者がスムーズに2泊3日の研修（舎営）を進めていくために、以下により事前に「課題研修」に取り組んでいただきます。

- 1 課題研修への取組みにあたっては、コミッショナーから紹介された方（支援者）と共に取り組んでください。
- 2 以下の3つの課題について、支援者の支援を受けて取り組んでください。
- 3 すべての課題が終了したら、トレーナーから履修認定を受けてください。
- 4 各書類の様式は、日本連盟HPの「加盟員情報」→「ダウンロード」→「指導者訓練」のページから最新のものをダウンロードしてください。

さあ、それでは始めましょう！

【団委員研修所「課題研修」課題】

課題1 日本連盟発行「団の運営と団委員会」を熟読し、指導を受けた内容を記述してください。

課題1では、団委員会が行うべき日常業務の基本的な方法や考え方を確認します。

「団の運営と団委員会」には、「団委員会」に視点をおき、団の運営に必要な事柄の標準が記述されているので、研修所での学び・理解が深まるように、団の運営に関する団委員会の役目と責務について確認して下さい。

課題1は、次のように作成してください。

- ① レポート用紙等に、各章ごとに、気づいたことを書き、支援するトレーナーまたはコミッショナーに提出してください。
- ② その後、支援するトレーナーまたはコミッショナーとの面談、または返信により受けたアドバイスと、その後の感想を「課題研修まとめ用紙」に記述してください。(①のレポート用紙は提出不要)

課題2 日本連盟教育規程「第1章 一般原則」、「第2章 加盟登録」、「第3章 団」「第4章 都道府県連盟」、「第5章 地区」、「第7章 教育の方法(7-33～7-43)」を熟読し、指導を受けた内容を記述してください。

課題2では、団委員会が団を取り巻く組織から支援を受けるために、日本連盟教育規程の中で、団の運営に関わる部分を確認します。

課題2は、次のように作成してください。

- ① レポート用紙等に、気づいたことを書き、支援するトレーナーまたはコミッショナーに提出してください。
- ② その後、支援するトレーナーまたはコミッショナーとの面談、または返信により受けたアドバイスと、その後の感想を「課題研修まとめ用紙」に記述してください。(①のレポート用紙は提出不要)

課題3 ボーイスカウト隊リーダーハンドブック「第3部 隊の運営」の「第8章 隊指導者」、「第9章 隊の運営」、「第10章 隊を支える組織」を熟読、指導

を受けた内容を記述してください。

課題3では、団委員会が各隊を支援していくために、隊指導者の役割や責務、隊指導者に求められる知識や技能、隊の運営などについて、ボーイ部門を例に確認します。

課題3は、次のようにを作成してください。

- ① レポート用紙等に、気づいたことを書き、支援するトレーナーまたはコミッショナーに提出してください。
- ② その後、支援するトレーナーまたはコミッショナーとの面談、または返信により受けたアドバイスと、その後の感想を「課題研修まとめ用紙」に記述してください。（①のレポート用紙は提出不要）